

おやこDE広場ゆうまつど

おやこDE広場は、概ね0歳～3歳のお子さんとその保護者が気軽に集える場所です。遊びや交流、友達づくりの場、子育て相談の場として利用できます。また、「おやこDE広場ゆうまつど」には、子育てコーディネーターがいますので、子育てについて気軽にご相談いただけます。

- 開催日 月曜・火曜・木曜・土曜 9時30分から16時30分(毎月末日休館)
※おやこDE広場の開催日以外は、子育てサロンとして3歳までのお子さんとその保護者の方が自由に使えるスペースとして開放しています。



ゆうまつどで毎月開催！
女性のための居場所
「野の花カフェ」

ゆっくりお茶を飲んだり、参加者と交流したり、お楽しみ企画に参加したりとお好きな過ごし方でご利用できる「野の花カフェ」で、ひと時の時間を過ごしませんか。



好きな飲み物も選べるカフェコーナーがあります！
(ワイドリンク)

月替わりのお楽しみ企画(ハンドメイド等)
▽カフェコーナー ▽交流コーナー ▽情報コーナー
キッズコーナーもありますので、お子様、赤ちゃん連れでも安心してご利用いただけます。



日時等の詳細はホームページ等でご確認ください。

ゆうまつど

No.79



Information library

情報ライブラリー

を利用してみませんか？

まつど女性就労・両立支援相談 ぜひお気軽にご相談ください

子育てや家庭生活と両立しながら働きたい、育休復帰の働き方について考えたい、転職を考えているなど、就労に関する不安やお悩みはありませんか。キャリアコンサルタントが一人ひとりの状況に応じた個別のカウンセリングを行い、就職や就労継続、転職などに向けたアドバイスやハローワークの求人情報の提供、応募書類の作成や面接対策の支援、松戸市の子育て・介護等の情報提供を行っています。また、毎月第2木曜日は、働く選択肢として起業を考えている、起業したいがどう進めていったらいいかわからないなどの方むけに「起業相談」も行っていきます。



- 日時 毎週 火曜・水曜・木曜 10時～15時
第1・3金曜 17時30分～20時30分

※祝日、休館日を除く
※毎月第2木曜は、起業相談も実施(就労・両立支援相談と併設)

- 相談方法 面接相談(予約優先)または、Zoomでのオンライン相談(要予約)
- 予約 TEL.047-364-8783(男女共同参画課) 月～金の9時～17時(祝日、年末年始を除く)



●お子様の見守り

相談時に隣のスペースでスタッフがお子様を見守ります。相談日の1週間前までにご予約ください。(0歳6か月～就学前)



ゆうまつどこころの相談

女性の相談(要予約)

- 日時 第1月曜日・第1木曜日 13時～20時
第2～4月曜日・第2～4木曜日 10時～17時
※休館日を除く
- 相談方法 女性相談員による面接相談または電話相談(50分間以内)
- 予約 月～金の8時30分～17時(祝日、年末年始を除く)
TEL 047-363-0505
- 対象 市内在住・在勤・在学の女性

男性の相談(予約不要)

- 日時 第1・3金曜日 17時30分～20時30分
- 相談方法 男性相談員による電話相談(30分間以内)
TEL 047-363-0505
- 予約 不要
- 対象 市内在住・在勤・在学の男性



松戸市男女共同参画センター

ゆうまつど

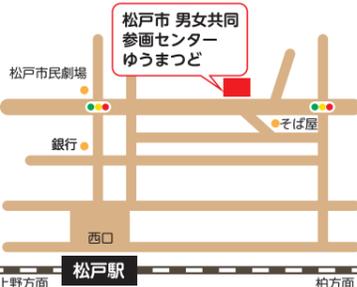
- 〒271-0091 千葉県松戸市本町14-10
- TEL 047-364-8778 ●FAX 047-364-7888
- 開館時間9:00～21:00(休館日 月末日・年末年始)
- ホームページURL
https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisetsu-guide/kaikan_hole/uyu_matsudo/
- E-mail: mcsankaku@city.matsudo.chiba.jp



SNSで発信しています！



松戸駅西口徒歩5分



男女共同参画センターゆうまつどは、性別にかかわらず誰もが社会的に対等な関係を築き、責任を分かち合っ、一人ひとりが自分らしく生きることのできる社会を目指した学習や活動ができる施設です。情報ライブラリーでは、男女共同参画やジェンダーに関する本をはじめ、生き方、子育て、働くことなど多様な図書・資料や、お子さんに読み聞かせしたい絵本がそろっています。お気軽にご利用ください！



利用時間は、9時から21時まで
(休館日を除く)
貸出は1人3冊 3週間まで



◀ゆうまつど 情報ライブラリー
ホームページはこちらから



情報ライブラリー

ってこんなところ



- ✓ 男女共同参画やジェンダー平等を学ぶための専門資料
- ✓ 生き方や健康、家族、子育て、介護、防災など、具体的な内容ごとに書かれた本
- ✓ 働くこと、仕事と家庭の両立、社会参加に役立つ本
- ✓ 児童書、読み聞かせにおすすめの絵本



幅広いテーマと実生活に役立つ本がそろっています。日常生活でのモヤモヤが晴れたり、悩んでいるのは自分だけじゃないと気づいたり、新たな発想が生まれたり、本との出会いがあなたの人生の糧になることを願っています。



お探しの本やジャンルが探せない時はお気軽にお声掛けください

情報相談員より

蔵書されている本は、どれも選りすぐりの本ばかりです。人生で感じる違和感、心のモヤモヤが晴れるヒントがそろっています。お探しの本や気になるテーマの資料や本などがありましたら、お気軽にお声かけ下さい。多くの方に利用していただき、自分らしく生きるための選択肢を見つけるお手伝いできればと思っています。



お子さん連れの方がよく絵本を読み聞かせているソファ



ライブラリー内は静かで、ゆっくり読書を楽しんだり、資料を広げて勉強したりできます。

おすすめ図書

毎号、情報紙の巻末で

情報相談員選りすぐりの本を紹介しています。



「イザというとき中身は大丈夫？ 防災リュックはじめてBOOK 最適化アレンジで命を守る」

高荷智也／徳間書店

防災リュックを作る時にはどんなものを用意するとよいのか、具体的にカラー写真入りでとても分かりやすく書かれています。また、防災グッズが優先順位をつけて紹介されていますが、単に便利なグッズの紹介ではなく、自分と家族に最適化した防災リュックの必要性をあらためて考えさせられます。身近なところから始められる防災のはじめの一歩として、読んで終わりにするのではなく、実践するところまでぜひ取り組んでみましょう。

「月とアポロとマーガレット 月着陸をさせたプログラマー」
ディーン・ロビンズ(文)、ルーシー・ナイズリー(絵)、
鳥飼玖美子(訳)／評論社

1969年、アポロ11号月面着陸、そして帰還という人類史上初の偉業の成功を支えた女性プログラマー、マーガレット・ハミルトンの実話絵本です。マーガレットは、小さなころから計算が大好きで、成長して数学を学び、宇宙飛行のコンピュータープログラムを開発しました。「常識」とはわかれず夢を追い続けることの素晴らしさを伝えてくれます。大きな月と夜空の表紙は、迫力があり、とても魅力的です。親子で楽しく読んでいただきたい一冊です。



「ハコたれてなんかいられない」

ジェーン・スー／中央公論新社

著者の鋭い視点から、日々の暮らしの中での出来事が軽快に綴られています。年齢を重ねること、仕事、人間関係等々、共感必至のエピソードがいっぱいです。ユーモアにあふれる文章は、読者の心を軽くし、今の自分のままでOK！と、前向きな気持ちを持つことの大切さとエールを読者に届けてくれます。大人を励ますご褒美エッセイです。



「チョウになりたい」
マルク・マジスキ(作・絵)、
吉井知代子(訳)／金の星社

主人公の男の子は、チョウになっている自分が好き！からかわれて、いやな思いをすることもあっても、応援してくれるパパがいるから大丈夫！「好き」を大事にすることの素晴らしさ、そして、それを応援してくれる人がいるから「好き」を大切にできる、ということをあらためて教えてくれます。小さい子どもから大人まで、心に響く絵本です。



ゆうまつどフェスタ2025 開催報告

ゆうまつどフェスタ 2025では、7日間にわたって市民団体の方と共に様々なイベントを開催しました。また、「男女共同参画社会づくり」をテーマとした小中学生ポスター作品展にもたくさんの作品をご応募いただき、フェスタを盛り上げていただきました。



各作品は右記の市ホームページよりご覧いただけます。



〈市ホームページ〉

フェスタを終えて

ゆうまつどフェスタのオープニングとなる基調講演会では、絵本コーディネーターの東條知美氏から絵本を題材に、多様な価値観や自分らしさを育む絵本の紹介など、自分らしく生きるためのヒントをいただきました。

また、男女共同参画に関する講座、防災やセカンドライフを考えるワークショップ、親子で参加できる催しなど、様々なイベントに大勢の方がご参加くださいました。これからも、男女共同参画社会の実現に向けて、歩みを進めていきます！

